

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	総合療育れお				公表日 R7年11月28日
環境 ・ 体 制 整 備	1	チェック項目 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	はい 4	いいえ 1	工夫している点 長期休み等に児童発達支援と提供時間が重なり一時に児童数が多くなる状況なので安全確保に努めます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	基準人員の倍近い常勤職員を配置している。 作業時間等を確保しやすい体制を構築していかたいと思います。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	3	・今よりもっと意見を出しやすくする工夫が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	4	・今回が初めてのため今後意向聴取の機会を作っていくたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	日ごとの振り返りの時間を設けている。 もっと職員から意見が出やすい環境作りに努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	第三者委員会は現在ありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	最低月に1度職員研修を行っている。 希望者に対して外部研修受講の機会を設けるなどの体制を整えていきます。
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	丁寧なアセスメントを行えるよう体制を強化していき、より計画に反映できるよう努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	2	現在よりも深く広く子どもの最善の利益を共通理解として職員が持てるよう研修体制等を整備します。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	全体だけではなく個々でも確認できる機会を増やし、より計画に沿った支援が行えるよう努めます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	全体共有をできていない部分が一部あるため、職員間で共有できるよう整備します。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5	担当者がたたき台を作成する形をとっています。よりチームとして機能していくようシステムの見直しを行っていきます。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2		・機会はあるがもっと向上が必要
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		より丁寧なモニタリングを行い、適切な見直しができる支援体制の構築に努めます。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	2		今より個々に合わせた効果的な組み合わせの支援を行えるよう検討していきます。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		・対象者なし
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		・対象者なし
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		センターと直接的な連携は有りませんが、センター主催の研修等には参加させていただいている。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5			
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		管理者等が参加し、内容の共有を行っています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		現在ペアトレは行っていないので、今後二回に分けて検討していきます。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		さらに児童や保護者様の意向を丁寧に拾い上げていくよう努めます。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		ご家庭等から希望があれば検討いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		地域活動に参加することはあっても地域住民を招待をしたことは有りません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		丁度11月の研修にてBCPを学びなおしたところです。より学びを深め、万が一に備えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5		・対象者なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		今後さらに安全管理を強化し、危険のないなかで支援を受けることができるよう努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		説明時だけではなく、普段から定期的に周知をできないか検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1		定期的な職員研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		指針を策定した上で保護者様にも説明を行っています。